

原町田地区



協議会ニュース

第10号
令和3年3月
発行及び発行責任者
原町田地区協議会
代表 宮島 榮一

「もしものマップ」作成中

令和2年度 防災事業

地域の防災体制づくりを進めていくには、自分たちが住むまちの避難施設はどこか、危険な場所はどこか等、地域に住む住民自身が、地域の防災情報を共有して、災害時には慌てず冷静に素早く安全に避難ができるように備えることが重要です。昨年（令和2年）2月9日に開催された地区別懇談会（町田市社会福祉協議会主催）では、原町田地区の防災まち歩きが実施されています。

原町田地区協議会では、災害時に役に立つものや危険な場所等を書き込んだ「もしものマップ（地域防災マップ）」の作成を進めています。

原町田三丁目地区の「もしものマップ」



令和2～3年度の2ヶ年で原町田地区全体のマップを作成する予定です。

マップのサイズは視認性の観点から町内会エリア別のA3サイズとし、作成したマップは当該地域の町内会加入全世帯へ配布いたします。

令和2年度は、原町田地区全域の地図（マップの基礎となる地図）を作成して、この地図に様々なデータを書き込み、原町田三丁目地区、原町田四丁目地区でマップを作成しました。

地域や家族で防災や防犯を考える際にぜひ「もしものマップ」をご活用ください。



町田第一地区町内会・自治会連合会



防災訓練の様子



町田天満宮例大祭の様子

町田第一地区は、原町田一丁目から六丁目までの地域で、町田市民文学館、中央図書館、国際版画美術館などの文化施設やふるさとの森もあり、利便性がよく、暮らすには大変良いところです。

連合会の主な活動は、防災対策及び合同防災訓練の実施、恩田川を歩こう会の開催、さくら祭り・町田時代祭り・天満宮例大祭などへの協力です。さまざまな事業を実施していますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、多くの事業を中止せざるを得ませんでした。

連合会としての今後の課題は、中心市街地ということもあり、犯罪や交通事故が多いので、安心・安全の街づくりを進めていくこと、マンションが増えているものの町内会加入率が低くなっているため、加入を促進することです。少子高齢化の進行に合わせ、子どもたちやお年寄りに優しく、人と人の絆をつくる温かい街づくりを推進していきます。

地区協メンバーを紹介します!

町田第一地区民生委員・児童委員協議会

民生委員・児童委員は、市民の皆様が安心して暮らせるよう、地域に暮らす身近な相談相手として、

- ・高齢で暮らしや健康に不安がある
- ・自分や家族の医療や介護、子育ての心配ごとや不安

など、社会福祉に関するさまざまな相談に応じています。

相談内容により、市の窓口や社会福祉協議会、児童相談所などの関係機関をはじめ、必要な支援への「パイプ役」として活動しています。



民生委員は法律により守秘義務が課せられており、活動上で知った個人のプライバシーは厳守します。守秘義務は民生委員を退任した後も課されますので、安心してお気軽にご相談ください。



ふれあいまつりに出展



ふれあいまつりに出展

青少年健全育成原町田地区委員会



ふれあいまつり準備の様子



ふれあいまつりの様子

原町田地区委員会は、町田第二小学校、町田第二中学校を中心とした原町田区域で活動しています。

町田第二小学校での「ふれあいまつり」、藤野「やませみ」や大地沢でのキャンプや山歩きやゲーム・工作などをして、食事は子どもたちがカレーを作ります。

また、家族連れや子どもたちが勉強したり楽しめる場所をコンセプトとした委員研修の実施、子どもセンターまあちや芹ヶ谷公園さくらまつりへの出店、時代のニーズに即した講演会や救命講習会も開催しています。

月例の地域パトロールでは、中心商店街と周辺住宅を数コースに分かれて巡り、消えかかっている道路標識のチェックや変化の激しい地域の状況を把握しつつ、子どもたちにとって安心安全な街づくりに取り組んでいます。

令和2年度は、コロナ禍で一切の活動が中止となり、報告することが全く無く、悔しい思いです。

町田中央地区商業振興対策協議会

当協議会は、大型店の出店に伴い、商店会が大型店と共存していくことを目的に1986年に設立されました。

現在、原町田地域の8商店会(町田一番街、二番街、幸町、駅前、パークアベニュー、原町田四丁目、原町田三丁目、文学館通り)及び8大型店(小田急百貨店、東急ツインズ、モディ、ルミネ、ジョルナ、レミィ、宝永堂、ブックオフ)で構成されています。

主な活動は以下の通りです。

- ・商店会と大型店が協調し、関係団体、行政との連携を図り、街の活性化を推進する。
- ・フェスタまちだの実施
- ・中心市街地環境整備の推進
- ・その他



フェスタまちだの様子



エイサーの演舞

町田第1地区高齢者支援センター

地区協メンバーを紹介します!

高齢者支援センターは、介護保険法に基づき、町田市により設置された高齢者の方のための総合相談窓口です。

市内は12の地域に分けられ、お住まいの町によって相談窓口となる高齢者支援センターが決められています。町田第1地区の対象エリアは、原町田・中町・旭町・森野・木曽東の一部(都営木曽森野アパート)となります。

高齢者支援センターは、高齢者の皆様が、いつまでも住み慣れた地域で、安心して生活を続けられるよう、介護・福祉・医療などさまざまな面から支援をおこなっています。また、相談だけでなく、地域の方と協働して、見守り活動の推進・町トレ(町田を元気にするトレーニング)の拠点づくりを行っています。ぜひご活用ください。



ふれあいまつりに参加

町田市社会福祉協議会

社会福祉協議会とは、地域における民間活動の中核となって、住民の参加する福祉活動を推進し、地域の困りごとを市民の努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体です。

主な事業としては、高齢者の方には、ふれあいサロンの設立・運営支援、成年後見制度などの権利擁護に関するご相談をお受けしています。

障がい者の方には、ふれあいサロンの設立・運営支援、権利擁護に関する相談、町田市福祉輸送サービス共同配車センターの運営、視覚障がい者ガイドヘルパー事業、重度身体障がい者訪問入浴サービスなどを行っています。

子ども・子育て家庭には、ふれあいサロンの設立・運営支援、おうちでごはん事業、「ここなび(心のナビゲーション)」の運営、学童保育事業などを行っています。

その他、ボランティアセンターの運営、歳末たすけあいなどの募金活動、福祉サービスに関する苦情や不満について調整を行う相談窓口の設置、高齢者・障がい者のための福祉法律相談など、幅広い活動を行っています。



ふれあいまつりに参加

原町田地区協議会とは・・・

地域住民の生活全般に関わっている町内会・自治会連合会と、民生委員児童委員協議会、青少年健全育成地区委員会の他、教育・福祉・防犯・防災等の多様な専門分野で活躍する地区内の各種団体が一つのテーブルに集まり、地区の情報を共有し、地区の課題について話し合い取り組むべき事業を自ら選択し、実施するための組織です。原町田地区協議会は、右の団体で組織されています。

原町田一丁目町内会、原町田二丁目町内会、原町田二丁目旭ヶ丘自治会、原町田三丁目町内会、原町田四丁目第一町内会、原町田四丁目第二町会、原町田五丁目町内会、原町田六丁目町内会六生会、原町田六丁目若葉会、町田中央地区商業振興対策協議会、青少年健全育成原町田地区委員会、町田第一地区民生委員児童委員協議会、町田市老人クラブ町田支部、町田市社会福祉協議会、市立町田第二小学校、市立町田第二中学校、町田第一高齢者支援センター、(株)ジェイコム 湘南・神奈川、町田市消防団